

共同研究  
事例④  
テーマ

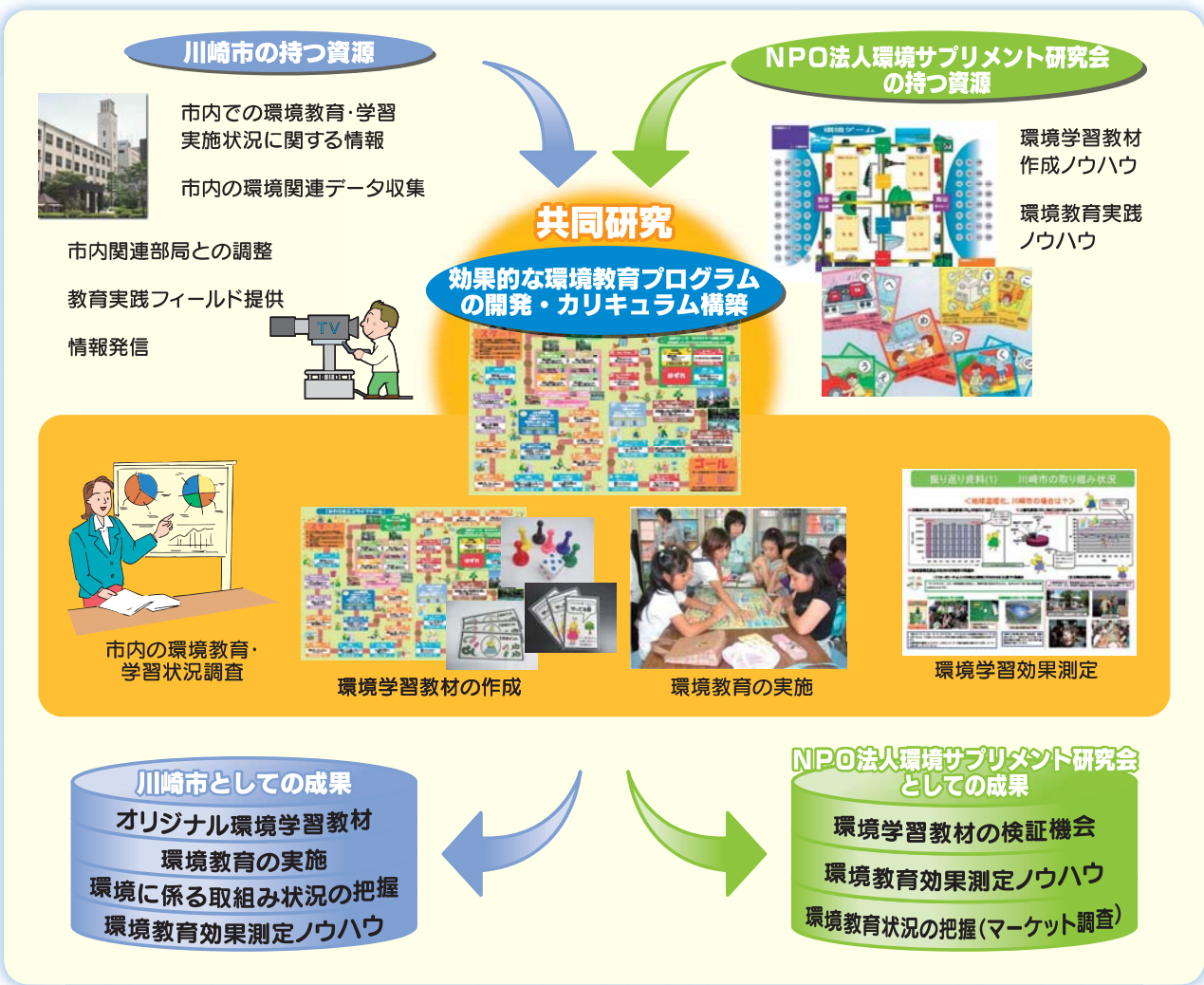
# 低炭素社会に向けたゲーム教材の高度化とその効果的な学習法に関する研究

共同研究者・NPO法人環境サプリメント研究会・川崎市

**概要** NPO法人環境サプリメント研究会の有する環境学習教材（ボードゲーム方式）作成ノウハウを活用し、CO<sub>2</sub>削減を意識した行動を市民に促すための効果的な環境教育プログラムの開発及びカリキュラムの構築を行いました。具体的には、川崎市内で行なわれている環境に係る取組み（環境教育、環境学習、普及啓発活動等）の状況を情報収集し、整理した上で、今後、川崎市が行うべき効果的な環境学習手法を検討し、効果的な教材作成につなげました。また、環境学習効果をより高めるため、教材を用いた教育の効果について判定手法を検討し、またゲームを活用した環境学習の在り方や、環境学習での振り返りの方法についても検討しました。

川崎市は、市内の環境に係る取組み状況の調査、効果測定手法の検討、川崎市の環境関連データの収集等を、NPO法人環境サプリメント研究会は環境学習教材作成ノウハウの提供、川崎市の地域性を導入した教材の作成等を分担しました。

研究成果は、川崎市における環境教育・学習をより効果的なものにするために、活用できると期待されます。



NPO法人環境サプリメント研究会  
事務局長  
加宮 利行氏

**共同研究に参加した感想**

環境学習教材としてボードゲームの作成に長年携わってきましたが、今回の共同研究でさらに効果を高めるための工夫を検討することができました。川崎市には、NPOのみでは把握できない市内の環境教育実施調査や環境教育実施の場を作って頂き、感謝しています。

**共同研究者概要**

企業名：NPO法人環境サプリメント研究会  
所在地：東京都港区  
設立：2004年2月  
活動概要：「環境教育用グッズ・教材」の開発と「環境負荷を低減する街づくり」に関する調査・企画」等



**共同研究に参加した感想**

市では環境教育を様々な形で実施してきましたが、今回の共同研究で「どのような教育が豊富で、どのような教育が足りないか」を俯瞰的に見ることができたことは大きな成果でした。また、効果的な活用方法も検討し制作した「川崎市オリジナルエコライフゲーム」は今後も活躍の場が多いものと期待しています。